

シルバー やまがた

第124号 平成28年10月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会
正会員数 998名 賛助会員 44個人・70団体(9月末現在)

粧う (第二地区 佐藤輝夫さん撮影)



—— 内容紹介 ——

P2 10月は事業普及啓発促進月間です

市長・議長へ要請活動を実施

P3 安全標語入選発表会

安全講習会を実施

P4 会員の状況・就業状況について

女性部会だより

P5 地域紹介「わが街自慢」

P6~7 会員のひろば

P8 就業会員を訪ねて

P9 人あり・技あり・心あり

新入会員紹介

P10 事務局だより

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



10月は事業普及啓発促進月間です

—地域活動の一層の推進を—

今年、高年齢者の雇用の安定等に関する法律（高齢法）が施行されて三十年になります。高齢者の就業、ボランティア活動等を通じた地域社会への参加を一層促進するため、十月を事業普及啓発促進月間として、全国一斉に事業の普及啓発活動が行われます。

当センターにおいても次の事業を実施いたしますので、会員の参加をお願いいたします。

一 事業の実施期間

十月一日（土）から十月三十一日（月）

二 事業の実施内容

① 県シルバー人材センター連合会主催の安全就業推進大会への参加（十月十一日（火）・山形県遊学館）

② 会員と市民が交流するシルバーフェア等の開催（会員互助会文化祭における活動風景パネル展示・十月二十三日（日）～二十五日（火）山形テルサ大会議室）

③ 役員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施（地区研修会々場等の清掃等社会奉仕活動の実施）

④ マスメディアに対する報道の働きかけ（普及啓発活動内容等の山形市役所市政記者クラブへの情報提供）

⑤ ポスター、リーフレット、広報用映像等を活用した役員、会員による普及啓発活動及び加入の働きかけの実施（役員による街頭啓発活動（十月二十五日（火）、イオン山形南店・山形北店）、会員による一…一（イチイチ）運動の推進）

⑥ 会員による街路清掃奉仕活動の実施（十月二十六日（水）山形駅西地区）

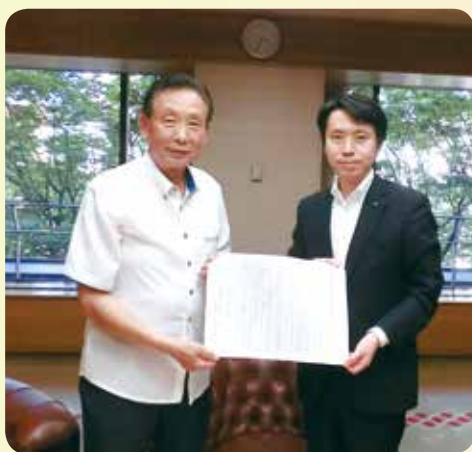
全シ協総会決議を受け、市長・議長へセンターへの支援を要請

全国シルバー人材センター事業協会定時総会では、毎年各自自治体へのシルバー人材センター支援の要望書を決議しています。今年度も六月二十三日に定時総会が開催され、「『ニッポン一億総活躍プラン』を實踐するシルバー人材センターへの支援の要望」として要望書が決議されました。

主な内容としては、行政刷新会議での「事業仕分け」の補助金削減により、シルバー人材センターの財政が逼迫している現状を訴え、「ニッポン一億総活躍プラン」ロードマップ

に掲げられた高齢人材の活用のためにセンター事業に必要な財源として、補助金や委託費・公共事業発注の確保を強く要望するものです。特に、センター運営に直結する人件費・運営費のこれ以上の削減をしないよう、強く求める内容になっています。

この決議を受け、長瀬理事長と笹原事務局長が佐藤山形市長と石澤山形市議会議長へ要望書を手渡ししました。シルバー人材センター運営へ、山形市からのさらなる支援をお願いしてきます。



第13回 安全標語入選発表・安全講習会の開催

八月八日、山形テルサにて、第十三回安全就業標語入選発表会が行われ、応募数二百三十四編の中から、最優秀作品一編、優秀作品二編、佳作五編が入選発表されました。入選されました皆様、おめでとうございます。

安全標語入選

最優秀

事故「0」を 目指せ山形 シルバーパワー

(南山形・本沢地区 塩野 邦雄)

優秀

つなげよう 共助の心が 事故「0」へ

(第八地区 佐藤 敏弘)

自信と過信は 紙一重 慣れた作業も 慎重に！

(南沼原地区 成田 巖)

佳作

危険です 慣れと油断と ルール無視

(滝山一地区 柴田 和宜)

シルバーの 年輪の数だけ 危険を知っている

(鈴川二地区 渡邊 孝)

ちょっと待て あせらず急がず 安全確認

(第二地区 吉田 久雄)

あわてるな 手慣れた作業に 落としあな

(第十地区 高橋 宏二)

「気を付けて」と声かけ合って

今日も無事故で 安全就業

(第四地区 長谷川徳治)

安全講習会

安全就業推進委員会

委員長 樋口 健一

八月八日、山形テルサにて、第十三回安全就業標語入選発表と表彰式後に、安全講習会が行われ、百三十八名の参加がありました。

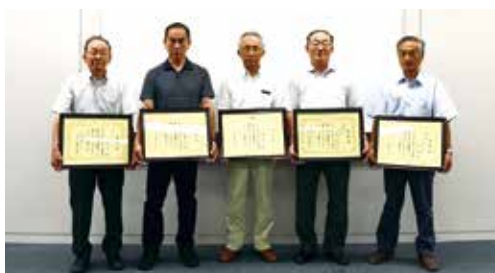
二十八年度から安全就業推進委員会事業計画で『三年間事故ゼロ』を目指し、全会員・役職員が「一丸となり安全意識の啓発に努めております。事故ゼロを目指す目的で、元米

沢労働基準監督署長の相澤延雄様から「シルバー会員における安全就業について」と題して高齢者の安全対策と心構えについての講演をいただきました。

私達を取り巻く環境については、労働災害件数は高度成長期よりは極端に減少しているものの、依然として墜落・転落・激突・飛来・落下・はさまれ・切れこすれ・交通事故等で二十七年度は山形県内で約一、一四〇人の方が怪我をし、内六十代以上が二十六%を占めているとのことでした。事故、災害の原因は、不安全な状態(物的起因)と不安安全な行動(人的要素の欠陥)が主の原因に

なるそうです。発生原因の八十%以上が不安安全な行動によって発生していることを知りました。

不安安全な行動をなくすには、「自分の命と健康は自らの努力で守るのが基本である」また、不安安全な行動をとる四つの要因があると言われているそうです。①知識の不足(知らない)②技術(能)の未熟(出来ない)③態度の不良(やらない)④ヒューマンエラー(人間のミス)があるそうです。それらの要因を少なくするには、知識をしっかり身に付けて、技術(能)を常に磨き、決められたことをしっかり守り、ミスを起こさないようにゆとりをもち就業することが重要であることを再認識できた講演でした。



ユーモアを交えながら「高齢者の安全対策と心構え」の講演で、大変有意義な安全講習会でした。

会員の状況・就業状況について

平成二十八年四月から平成二十八年八月末まで(上半期)

①会員の状況

月別	入会者数	退会者数	当月末会員数	備考
28.3.31			989	前年度末会員数
4月	20 (男14、女6)	90 (男68、女22)	919	
5月	24 (男17、女7)	3 (男2、女1)	940	
6月	15 (男12、女3)	1 (男1、女0)	954	
7月	18 (男13、女5)	0	972	
8月	15 (男13、女2)	0	987	
合計				男：761 女：226

②就業状況

区 分	職 群	就業延人員	備 考
一 般 受 注	技 術 群	36	経理事務、パソコン作業 など
	技 能 群	17,665	襖張り、障子張り、剪定 など
	事 務 整 理 群	1,709	賞状筆耕 など
	管 理 群	21,348	駐車場管理、施設管理 など
	折 衝 外 交 群	450	量販店での作業 など
	一 般 作 業 群	16,851	除草、草刈り、清掃 など
	サ ー ビ ス 群	464	病院での洗濯、らくらく応援隊 など
	計	58,523	
独 自 事 業	自 転 車 再 生	204	
	家 具 リ サ イ ク ル	4	
	即 売 会	0	
	計	208	
子 育 て 支 援	子 育 て 支 援	299	
合 計		59,030	
派 遣 事 業		4,183	

事業区分	実就業人員	備 考
請負事業	726	
派遣事業	82	
合 計	808	就業率：81.8%

女性部会だより

女性部会長 村田せつ子

しるんばコミサロ二年目を迎え、亀さん速度ではありませんが好評に盛り上がっています。

五月 笹まき作り おなじみ塩野先生の指導の下、丁寧に笹の葉でもち米と一緒に愛情たつぷり包み、コトコト四十分煮込みます。出来上がった形は様々ですが、黄粉と黒みつで「うめーごと」試食会とおしゃべりもはずみしました。

六月 街中散歩 千年和鐘に手を合わせ、市役所正面を皆さん元気に出発。足取りも軽くまずは山形メディアタワーへ。美人のガイドさんの案内を受け、YBCラジオ九一八スタジオではガラス越しに小川アナウンサーとご挨拶。ピヨ卵ワイドテレビスタジオでは出演者気分、にっこり笑顔の記念撮影。山新の新聞をお土産に頂き、次のコース、今年百歳を迎えた文翔館をベテランのボランティアガイドさんの案内で熱心に見学。大正ロマンに浸りました。そして、ランチはおにぎり、手作りの黒豆や水羊羹、紅花入りのきゅうり漬、サクランボなどなど盛りだくさんで皆さん大満足。最後はモン

テディオ山形オフィシャルショップでお買い物、伝統こけし館も見学し、こけしたちに癒されて無事故で解散。

八月 カラオケでみんなて歌いましょう 「じゃーうまいごと」「じゃんだ、じゃんだ」演歌ポッツ、民謡等々ひたすら歌い続けた三時間でした。

食べて歌って散歩して、楽しい催しが繰り広げられ、思い思いに満喫していただいております。仲間作りをし、一緒に楽しみ健康寿命を延ばし、生きがい活動の中心になっていつまでも輝き続けたいものです。

まずは来てからつしゃい。次回は十一月です。お待ちしております。詳しくは後ほどご案内いたします。



金井地区

今田 一夫

金井地区は新旧の違いが感じられる地区です。山形市健康づくり運動普及推進員として、市内マップ作りに参加。内容は歴史、史跡めぐり、せせらぎ、山歩きのコースです。新旧コースとして皆様を案内します。

金井コミュニティ広場下車、金井中に立ち寄り、陣場地蔵尊、昔は天災を鎮め、現在は水子供養のご利益があると伝えられています。陣

感じさせます。稲荷神社、市指定保存樹の大ケヤキが見られます。裏側には神様が渡る回廊があります。高松寺、門前には仏足跡があり、心の字を模した池が庭園内にあります。嶋公園、国指定史跡の嶋遺跡があり、公園のモニュメントとして、高さ十五メートルのカリヨンが建てられ、季節や時間に合ったメロディーが流れます。

街道沿いには山形市まちなみデザイン賞の「田中家住宅」があり、懐かしいはずまいを



嶋公園内のカリヨン

地域紹介

わが街自慢

パートII



楯山地区

工藤 俊二

当地区は、山形市内より北東に位置し、山形自動車道の山形北インターチェンジを始め、楯山地区の玄関口であります。鷲ノ森地区では、念願でありました国道十三号線バイパスの大野目交差点の立体工事も昨年完成しました。長年の大渋滞も解消し、今はスムーズな走行となりました。

医療の中心として、県立中央病院の開設は、ここ十数年で変化が厳しく、様変わりしている地域であります。

そして現在は、山形市ゴミ焼却場が、平成二十九年の開設をめざし急ピッチで進められているところです。

当地区の中心地でもある、風間地区に、二年前楯山コミュニティセンター「なか

ま館」が開設され、利用者で大いににぎわっている現状であります。将来どんどん変わっていく状況にしっかりと目を向け、次の世代に引き継ぐことが大切かと思われまます。



県立中央病院

公園通り商店街に住んで



第一地区
大和 壽一

我が家は宮町から商人として移り住んで百二十年になります。

山形の歴史文化の中心施設が周囲にあり、中でも豊烈神社は中心に位置し歴史資産となっています。

江戸から明治への激変の時代に身を挺して山形を救った若き家老水野元宣の心は、いつまでも山形市民の中に生き続けると思います。

最上義光歴史館、教育会館、NHK、四季の彫刻「ミラノ在住の彫刻家服部公衛門氏のグループ作品」が舗道に設置され市民に親しまれています。毎年夏には市内の幼稚園、保

育園等の七夕が飾られ、また秋の豊烈神社の大祭には神輿が巡航し打毬が行われ、夜店が出て老若男女が楽しみにしています。

こんな穏やかで四季に恵まれた街に住む幸を感じています。

私の夢は明治十年に先祖が辿った伊勢宮、金毘羅道中、旅日記になぞって羽前小松、新潟を廻って名所旧跡を訪ねて伊勢路に出て御参りし琴平、東海道を経て日光に寄り東照宮を見物するコースを考えています。が、どうなることやら、是非実現したいものです。

『読書閑話』



鈴川第二地区
五十嵐 力

シルバーとの関わりは、三年前、テルサで確定申告の待ち時間、募集説明会に参加したのが始まりで今に至ります。

さて、私の読書についてのお話です。私は、ジャンルを問わない活字中毒で、ここ十年は、新刊本だけを対象にした読書が続いています。二〇〇五年から、読書履歴を残していますので、見直しますと、年間百三十から百六十冊は読んでいて、この

十年で千冊を超えていました。最近のは、新聞の日曜版で、新刊書紹介欄に掲載された本のタイトルを見て、「もう読んだよー！」と独りごとを言っています。

昨日は、総合文芸誌に掲載された小説、「コンビニ人間」を読了し、非凡人間が完璧なマニュアル世界で生活する不可思議、「ふっふっ」と素直に笑える作品に出逢いました。

それと、八月は新聞書評に載った本を事前に読む確率が高く、セビリア生まれでニューヨーク在住の作家が、広島で被爆した女性の数奇な半生を綴った「リトル・ボーイ」や、ドイツ人作家で、世界が二十世紀へ移ろうとする時代に、アメリカとヨーロッパの建築を比較し、建物空間の価値観を変えてしまったエレベーターの歴史、「金持ちは、なぜ高いところに住むのか（近代都市はエレベーターがつくった）」です。

最後に、思い出を一つ、四十五年程前、通学途中の山の手線での事、気配を感じて視線を上げると白髪のご婦人が目の前に立ち、新書の背表紙を見ている。「すいません、メモさせてください。」と、タイトルを書き取って行かれました。

その時読んでいたのは刊行まもない「東京大空襲」でした。

仲間と、働ける喜び



鈴川三地区
小笠原重義

四十六年間勤めた会社を六十七歳で退職いたしました。その当時県内・県外に勤務が多くなりました。これも家族はもちろんのこと、会社関係等、様々な方の支えのおかげと感謝しております。

東北管内退職者の会（名称は同友会）と称し、二十八年度（秋保温泉）は一泊二日の日程で、総会・懇親会・ゴルフコンペが開催されました。私は毎回参加し上司の方、友人の方々に感謝の意を表し続けております。この会は全国にありブロックごとに活動されております。

私の現在の仕事は四月五月（連休中）十一日間、交通量調査として山寺地区、蔵王地区で県外から来られる車のナンバーの仕分けをして記録をとります。毎年発注が続いており、鈴川三地区友人皆様と一緒に稼働させてもらっております。

また、世話役の活動も進んで続けております。

健康を考えながら体力の続く限り働こうと思っております。



多員の健康・趣味

芝刈り



出羽・明治地区
菅井 和廣

ゴルフとの出会いは、二十五年前、役所で商工・企業関係の誘致や振興関係の業務を担当した時です。

折しもバブル経済の最盛期で県内のあちこちでゴルフ場の新設工事が始まり、職員厚生事業で役所の屋上に練習用のネット器具が設置されて昼休みや仕事終了後に練習をしました。

さらに、将来を見据えて職場の仲間八人と造成中のゴルフ会員権を借金して購入し、晴れてメンバーとなり、練習やコースプレイに互いに熱が入っていました。先人からは柔道

であれば初段で黒帯、ゴルフはスコア百を切ると一人前と言われ、一年後に八人全員が百を切ったときは、祝賀会を開催した思い出があります。

休日や旅行はゴルフ中心で、国内はもとより、ハワイ・グアム・タイ・インドネシアなど外国のコースも体験しました。ヤシの木、ブーゲンビリア、紺碧の海に囲まれたリゾートでの仲間とのプレーとクラブハウスの冷たいビールは感激でした。

定年後も当時の仲間と年に数回交流しており、互いに筋力を維持する目的で頑張っていますが、口癖に飛距離が落ちたと、栄光の日々が忘れられない人がほとんどです。

平成二十六年にシルバーゴルフ愛好会に入会させていただいて、三十数名の会員の皆様と楽しく、交流しておりますが、まだ優勝したことがないため、優勝を目指して練習とプレーに励んでいます。



昭和追想

写真アルバム『山形市の昭和』（二〇一五年八月いき出版発行）をみて、昭和四十年前後の街なみと若かったころを思い出した。

駅前大通りには専売公社山形工場、

山交バスの車庫があり、十日町角にはいなり食堂があった。農家の女の人が歩道のはしに露店をかまえ、季節の野菜や漬物を売っていた。

勤めはじめたところで汽車通勤をし、朝夕に利用した駅や周辺の街角がなつかしい。駅舎は大正五年建築の二代目で、明治の洋風建築だと聞いた。昭和四十二年に民衆駅ができるまで市民に親しまれた建物であった。

仕事を五時に終えて、いちばん早い帰りの汽車は五時二十分。それに乗り遅れると七時十六分まで待たなくてはならない。そうになると、駅のほぼ正面にあった名月堂でよく立ち読みをしたが、長くなると気がひけてくる。酒を飲む習慣はなかったが、居場所を求めて居酒屋にも足が向いた。

駅の広場を出てすぐの道を右に折れると、建物を棟割にした四軒の居酒屋があった。いまNTTドコモビルが建っている。そのなかの「あけぼの」という店によくいった。店内はカウンターと奥に三畳くらいの小上りという広さで、十二、三人も入れば満席となる。

のれんをくぐり、定番の煮込みと梅割りを注文する。お通しにたくあん漬がでてくる。梅割りは二十五度の宝焼酎に赤いシロップを二滴、三滴たらし、わずかな香りと味をつ

けたもの。分厚いコップに受け皿までこぼれるように注いでくれるのが決まりだ。梅割りは一杯三十円、煮込みは五十円と記憶している。

店は六時ごろになると、仕事を終えた客でいっぱいになる。受け皿にこぼれ落ちる酒の量が少ないと文句をいう者、テレビのニュースを大声で評論する者とそれに反論する者、連れといっしょに会社の悪口をいい、ため息をつく者など大賑わいとなる。

それぞれの憂さをはらし、いつときの安らぎのなかに明日の活力を得る。それが、くらしが豊かとはいえなかったころの大衆酒場だ。その場面をカウンターの隅でながめながら、ひとり梅割りを飲む。

客は一時間も飲めば、その日の幕を引くように、ほろ酔い気分を店を向かう。

その状況はちよつと昔のことがたつ。そのあたりの街角は大きく変わり、子の大権現正楽寺が残るだけだ。紅顔も高齢者となった。無常

迅速である。



高橋ヨシ子・会田利江・東海林れい子(山形大学小白川図書館)

女性会員三名が就業して
いる、山形大学小白川キャンパス内にある「小白川図書館」(五階建)を訪ねた。

事務局の方に挨拶をして
概要を尋ねたところ、蔵書数は約七十二万冊、その種類は一般教養及び専門書をはじめ、辞書・辞典、白書・年鑑、新書・文庫本、新聞・雑誌等と多種類である。このキャンパスに通学

する学生数は約四千五百人、図書館の利用者数は一日に平日で約一千人、試験期間中は約二千人。図書館の利用は学生のみならず、一般の方でも利用可能とのこと。

リーダーに伺ったところ、毎週月曜日は三名が就業、火曜日から金曜日までは交代で一名ずつ。土日と祝日は休みである。勤務時間は午前八

時から午後四時まで。休憩

時間は午前十時から十五分間

と、昼十



二時からの一時間。週一回、キャンパス内の学生食堂で、三人で楽しい会話をしながらとる昼食の時間が至福のひとつとか。

業務内容は館内作業の清掃と、館外作業の草むしり、花壇の手入れ、秋は落ち葉掃き、冬は除雪がある。リーダーが契約内容に沿って作った作業手引きがあり、それに基づき、決められた作業順序で、時間内にその作業を終了するように行っているとのこと。

「就業において一番心がけている事は」との質問に、リーダーより「図書館へ足を運んでくださる皆様に、幾らかでも気持ち良く利用して頂けるよう、三人で頑張っている」とのこと。実際に入口付近、階段、トイレをみせてもらったところ、清掃が行き届き実にきれいだ。女性ならではの作業と感動させられた。また一番苦労

しているのは、利用者の多い時期のトイレ清掃。そして一番嬉しいのは、利用者の方より、会員の作業の労をねぎらう言葉「ご苦労様です」と声をかけられた時とのこと。お忙しい中、取材にご協力を頂きありがとうございます。

(取材・広報部)

就業会員を訪ねて

池田 正弘 (山形馬事センター)

中里にある「山形馬事センター」には、日本各地の馬事センター会員の愛馬二十二頭が年間を通して管理を委託されてる。

この四月より厩舎の清掃担当として池田さんが就業している。秋の気配は感じるも、厩舎の中は三十二度。真夏の暑さだ。

朝の十時。厩舎の床のチップの入れ替え作業に取り組み彼の顔には大粒の汗がとめどなく流れている。シャツもすっかりぬれている。大型の扇風機がフル回転しているが、レーキを持つ手は休むことはない。掃き出された汚れたチップは一輪車の荷台へ運ぶ。この作業が何度か繰り返される。新しいチップを敷き詰め、掃除のため外に出されていた馬を戻す。馬は、「気持ちいいよ！」と言わんばかりに横になり体を動かしていた。

「馬の目がかわいいよ！親しみが湧くよ。目と目が合うとまた来たね、と言ってくれているようだ」と、汗だくの池田さんの顔が



ほころんだ。

シフトは週三日。朝八時〜十一時までの三時間。「体力を要する仕事です。水分補給は欠かせない。三時間で一・八リットルはあつという間に飲むよ」と言って汗をぬぐった。

白いグラウンドでは、白馬にまたり静かに訓練に余念がないオーナー。静かな時間が過ぎていく。彼らが大好きな愛馬と気持ちよくふれ合い楽しい時間を過ごせるのは、汗だくで働く池田さんの力もあってこそなのでは…と頭が下がった。

(取材・広報部)

シルバーに

人あり

技あり

心あり

折り込みでつくるゴミ入れを贈ること十年



第四地区

片桐 幸一

片桐さんは八十六歳にして洋服を仕立てる現役の職人である。親の代からの家業だが、朝、四時に起きて仕事をはじめるといふ。

シルバーの会員としては、愛好会活動に多くの時間をあてているようだ。歌謡愛好会、シルバーコーラス銀の笛、マージャン愛好会の会員のほか、山形地区年金受給者協会第二支部の歌謡愛好会の会員でもある。週に何日か例会にでかける。若いころから六十代ま

で、コールマイゼン男性合唱団で歌っていたこともある。歌は人生の友ということであろうか。歌謡愛好会は



年に数回、福祉施設を訪問して歌を披露するボランティアを行っている。片桐さんはそのときにあわせて、折り込みでつくった卓上用のゴミ入れ（ゴミ箱）を持参し贈呈している。自家用としてつくりはじめたのだが、施設に贈った使い勝手がいいのではないかと思いついた。身のまわりの手の届くところにおいて、紙クズなどを捨て、使いおわればそのまま「もやせるごみ専用袋」に捨てればよい。それから、年に千枚をこえる数のゴミ入れを贈り重宝されている。実演をしていただいた。折り込みをつかって折り紙を折るようにつくる。それを開くと写真のようなゴミ入れができあがる。大きさは折り込みの大きさによって異なる。話を聞きながら、すこぶる元気な方だと思つた。行くところ、やることがあり、話す仲間のあることが、日々の健康の源ということだろう。ストレスもなく、十五年も風邪をひいたことがないという話に実感した。

(取材・広報部)

新入会員紹介

(7月1日～9月30日まで)

滝山二地区	滝山一地区	東沢地区	飯塚・樫沢地区	千歳地区	鈴川三地区	鈴川二地区	第十地区	西地区	第六地区	第五地区	第三地区
松崎 滋	安達 康裕	我妻 誠	鈴木 靖子	佐藤のり子	鹿野 則和	阿部 正男	布施 良信	高野 正美	高田 哲隆	青木 啓子	佐藤 好子
	渋谷 絹代	阿部 修二	片山美和子	矢田目喜祥	阿部 正男	阿部 正男	高野 正美	高橋 敏信	木村とき子	吉田 睦子	小峯 康紀
	出井久美子	南沼原地区	南山形・本沢地区	蔵王地区	楯山地区	山寺・高瀬地区	大郷地区	戸田 久	戸田千枝子	石野 榮一	出羽・明治地区
	菅原 秀昭	香曾我部等	竹田 節子	高橋ひろ子	古瀬 治光	酒井 清	中村 孝志	戸田 久	戸田千枝子	板垣 毅	安川 宏
	帯刀 楯夫	菅原 秀昭	草刈 多喜	斯波 周衛	古瀬 節子	斎藤 吉邦	斎藤 吉邦	戸田 久	戸田千枝子	加藤 政吉	金井地区
	出井久美子	菅原 秀昭	草刈 多喜	高橋ひろ子	古瀬 節子	斎藤 吉邦	斎藤 吉邦	戸田 久	戸田千枝子	石野 榮一	安川 宏
	出井久美子	菅原 秀昭	草刈 多喜	高橋ひろ子	古瀬 節子	斎藤 吉邦	斎藤 吉邦	戸田 久	戸田千枝子	石野 榮一	安川 宏

事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(〇三三)六四七―六四七

URL: <http://web.sjc.ne.jp/yamagata-shi>
E-mail: yamagata-shi@sjc.ne.jp

行事イベント案内

地区研修会に

参加しましょう

本年も各地区ごとに開催されますので、皆様のご参加をよろしく願います。

※女性部会では、未使用のタオルの寄付をお願いしています。地区研修会の際にも受付いたしますので、ぜひお持ちください。

創作品展示即売会

日時：十月二十三日(日)～

二十五日(火)

場所：山形テルサ一階

(互助会文化祭会場)

出品作品の準備をお願いします。男性・女性会員とも積極的な参加をお待ちしています。



お知らせとお願い



配分金支払日

十月二十日(木)

十一月十八日(金)

十二月二十日(火)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いいたします。

十月十三日(木) 二十日(木)

二十七日(木)

十一月十日(木) 十七日(木)

二十四日(木)

十二月一日(木) 八日(木)

二十二日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

十月十三日(木)

十一月十日(木)

十二月八日(木)

配分金の振込先について

ゆうちょ銀行の取り扱いははじめます

これまで、配分金の振込先は山形銀行・きらやか銀行の二行だけでしたが、この度ゆうちょ銀行の口座も配分金の振込先として登録していただけるようになります。

山形銀行・きらやか銀行の口座からゆうちょ銀行口座への振込先変更をご希望の方は、シルバー人材センター事務所まで来所いただき、お手続きをお願いいたします。

開始時期：平成二十八年十月分支払より(十一月十八日支払)受付期間：十月一日)

※十月分の支払から変更をご希望の場合は十月三十一日までお手続きをお願いします。
持ち物：変更するゆうちょ銀行の通帳、会員証
(事務所にて通帳のコピーをいただきます)

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

松平 勤さん(八十五歳)
(鈴川一地区)

あとがき

広報部会に入って半年余のヒヨッコです。本誌は年四回発行、総勢七名で、毎号四度の広報部会を経て完成となります。本来の仕事の合間に、編集、原稿依頼と取材、校正は勿論、情報収集、人選や写真確保等、諸々の作業も織り交ぜながら、各役員分担して知恵を絞ります。ヒヨッコの出来そうな分担当は、「会員のひろば」の原稿依頼。の筈だが、これまた難しい。毎回数名の会員のお宅に電話でお願いするのだが、拙い弁も災いして、「作文得意でないし」との主な理由で、未だ一人の快諾も得られて無い。先輩部員の確保してくれた原稿で埋め合わせて貰っている。それでも毎号予定の半分程度で推移。これが目下の大きな課題です。そこで会員の皆さんに改めてお願いします。楽しい事、関心を寄せている事、身の回りの事等、思い切って自由に書いて頂きたいのです。自分の中に眠っている何かが変化するかもしれません。勇気を出して今より少しだけ進化して自分の思いを活字にしてみませんか。
「もしもし、あ、あの、シルバーの広報部会で……」次は貴方にお電話差し上げます。